

令和4年1月24日（月）
午後2時～4時
一般社団法人横浜みなとみらい21
プレゼンテーションルーム

第69回 横浜市屋外広告物審議会

1 次第

- (1) 開会
- (2) 審議事項
 - ア 横浜市屋外広告物条例第19条に基づく許可の特例について
 - イ 横浜サイン賞二次選考について
- (3) その他
- (4) 閉会

2 配付資料

- (1) 委員名簿
- (2) 席次表
- (3) 横浜市屋外広告物条例第19条に基づく許可の特例について
..... 【審議事項ア】
- (4) 横浜サイン賞二次選考について..... 【審議事項イ】

第33期横浜市屋外広告物審議会名簿

(委員名は五十音順)

任期 令和2年12月1日から

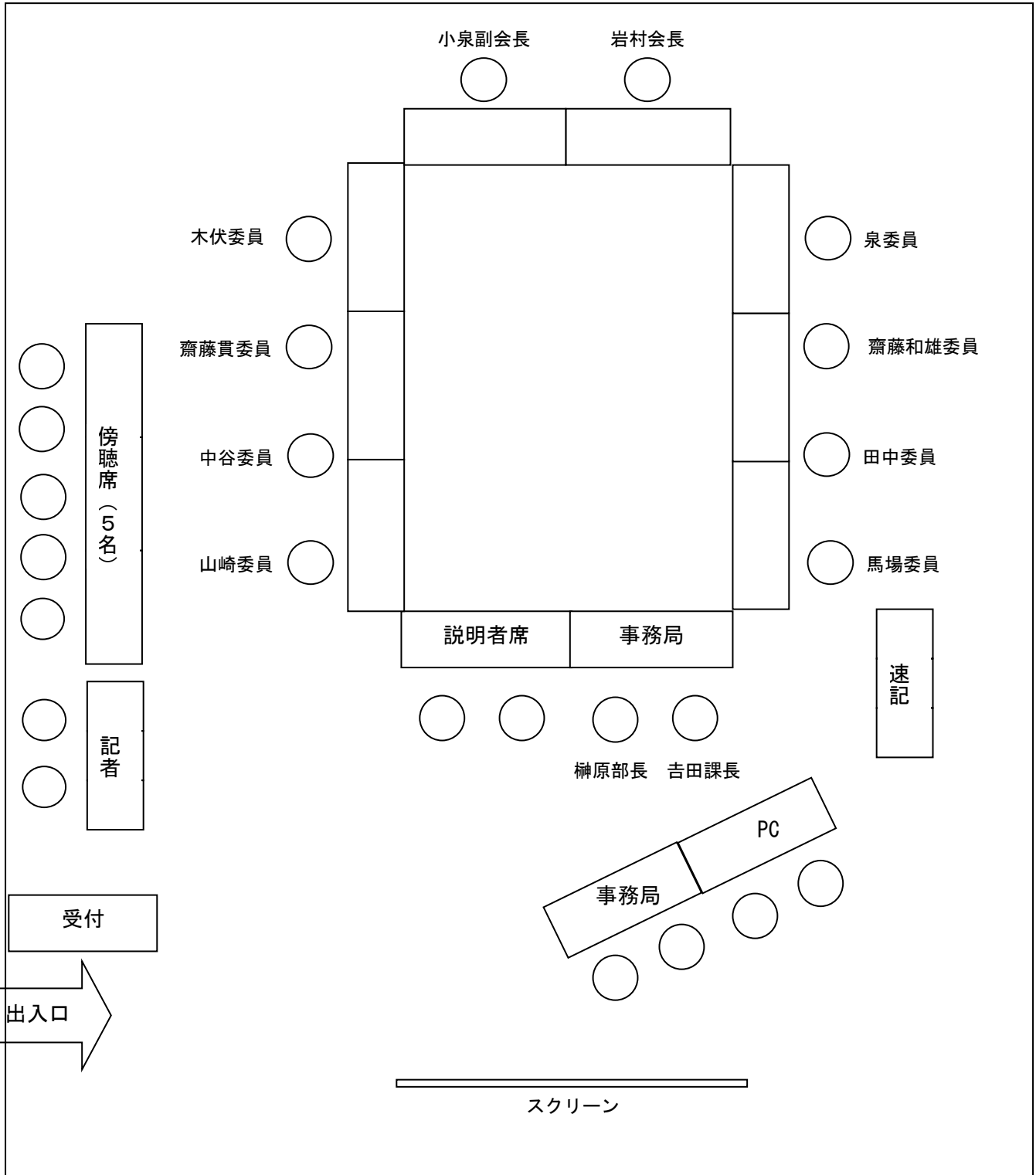
令和4年11月30日まで

| | 氏名 | 役職名 |
|-----|-------|--------------------|
| 会長 | 岩村 和夫 | 東京都市大学名誉教授 |
| 副会長 | 小泉 雅子 | 多摩美術大学教授 |
| 委員 | 泉 路代 | 弁護士 |
| 〃 | 木伏 慎治 | 横浜市商店街総連合会理事 |
| 〃 | 齋藤 和雄 | 神奈川県広告美術協会副会長 |
| 〃 | 齋藤 貫 | 神奈川県県土整備局都市部都市整備課長 |
| 〃 | 田中 喜芳 | 人間行動学博士 |
| 〃 | 中谷 忠宏 | 横浜商工会議所議員 |
| 〃 | 馬場 勝己 | 横浜市町内会連合会委員 |
| 〃 | 山崎 洋子 | 作家 |

【第 69 回横浜市屋外広告物審議会座席表】

日時：令和 4 年 1 月 24 日（月）午後 2 時から午後 4 時まで

会場：一般社団法人横浜みなとみらい 21 プレゼンテーションルーム



審議事項 ア 横浜市屋外広告物条例第 19 条の規定に基づく許可の特例
照明塔への屋外広告物の設置

1 概要

| | |
|--------------|---------------------------------|
| 名称 | 照明塔への屋外広告物の設置 |
| 広告物の内容 | 横浜 DeNA ベイスターズの選手写真及びロゴ |
| 設置場所 | 横浜公園内横浜スタジアム照明塔 |
| 特例許可を必要とする理由 | 照明塔は禁止物件に該当するため |
| 設置期間 | 令和 4 年度プロ野球シーズン中（3 月から 11 月が目途） |

2 事務局としての考え方

(1) 事務局意見

横浜市屋外広告物条例第 19 条「その表示若しくは設置が公益上の理由その他の理由によりやむを得ないと特に認める広告物等で景観を阻害しないと認められるもの」に該当し、許可の特例として取り扱うことが適当であると考えます。

(2) 理由

ア 公益上の理由その他の理由によりやむを得ないと特に認める理由

横浜スタジアム及び横浜 DeNA ベイスターズでは、横浜市スポーツ推進計画にあるように、プロスポーツと地域との連携・協働の取組の中で、横浜の象徴としての横浜 DeNA ベイスターズを根付かせることで地域活性化を図っていることから、本広告物の設置には、公益上の理由があると認められます。

イ 景観を阻害しないと認められる理由

次の理由から景観を阻害していないと認められます。

i デザインについて、選手の姿をベースとし、色合いもスタジアムの壁面との調和に配慮されています。

広告物は、球団カラーの青を基調としており、スタジアムの壁面との調和に配慮されているとともに、選手ビジュアルをメインとするシンプルなデザインとなっているため、景観を阻害しないものと考えます。

ii 周辺の道路上から見える景観の視点では、照明塔の下部に設置され、スタジアムの外壁とほぼ同じ高さになっています。

5号柱については、周辺の道路上から見ると緑で覆われており、日本大通りからの景観を阻害していないと考えます。6号柱は、周辺の道路上から見ると広告物の上端がスタジアムの外壁の上端を超えていますが、超える部分は僅かであり、一部が緑で覆われていることを踏まえ、景観を阻害しないものと考えます。

【参考】これまでの経過

| 広告物の設置 | | 審議会での審議 |
|--------|-----------------|-------------|
| 年月 | 場所 | |
| 25年3月 | 照明塔 | 第49回(25年3月) |
| 26年3月 | 照明塔 | 第52回(26年1月) |
| 27年3月 | 照明塔 | 第54回(27年1月) |
| 28年3月 | 照明塔、人工台地上のトイレ壁面 | 第56回(28年1月) |
| 29年3月 | 照明塔、人工台地上のトイレ壁面 | 第58回(29年1月) |
| 30年3月 | 照明塔、人工台地上の仮囲い | 第60回(30年2月) |
| 31年3月 | 照明塔 | 第62回(31年2月) |
| 設置せず | 照明塔 | 第65回(2年2月) |
| 3年8月 | 照明塔 | 第67回(3年3月) |

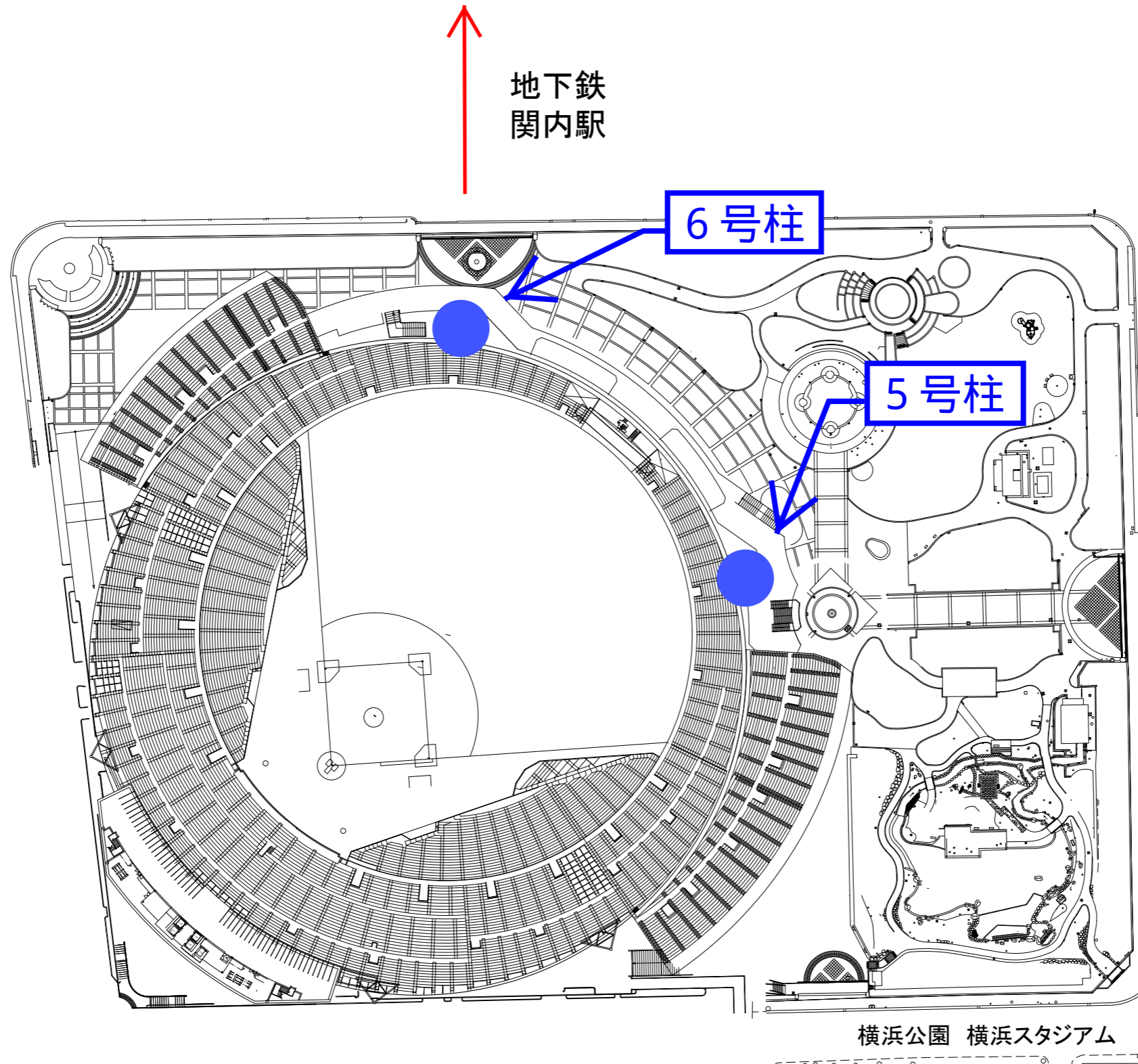
※人工台地上のトイレ及び仮囲いは撤去済み。

横浜スタジアム 照明塔

2022シーズンの照明塔への装飾については、以下の箇所への設置を検討したいと思います。

JR
関内駅

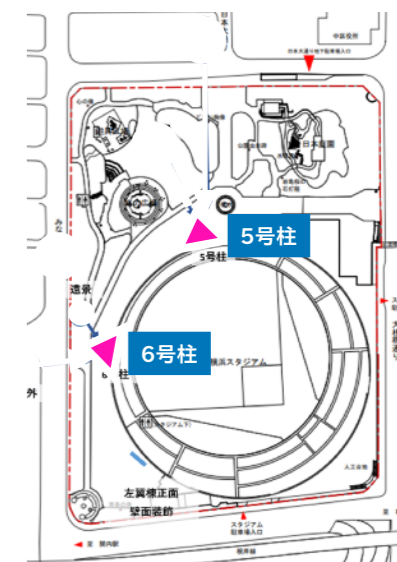
地下鉄
関内駅



日本大通り駅

■ 照明塔

2021シーズン装飾と同様のサイズ・素材で施工します。



横浜スタジアム 照明塔

W:3,220mm



H:3,692mm



H:3,520mm

W:3,370mm

※照明塔2本（合計4面）に対して施工します
※撮影前のため、デザインはイメージです。

「選手選定」含め、変更の可能性があります。
撮影後に本番デザインにて申請いたします。

■ 素材：メッシュターポリン

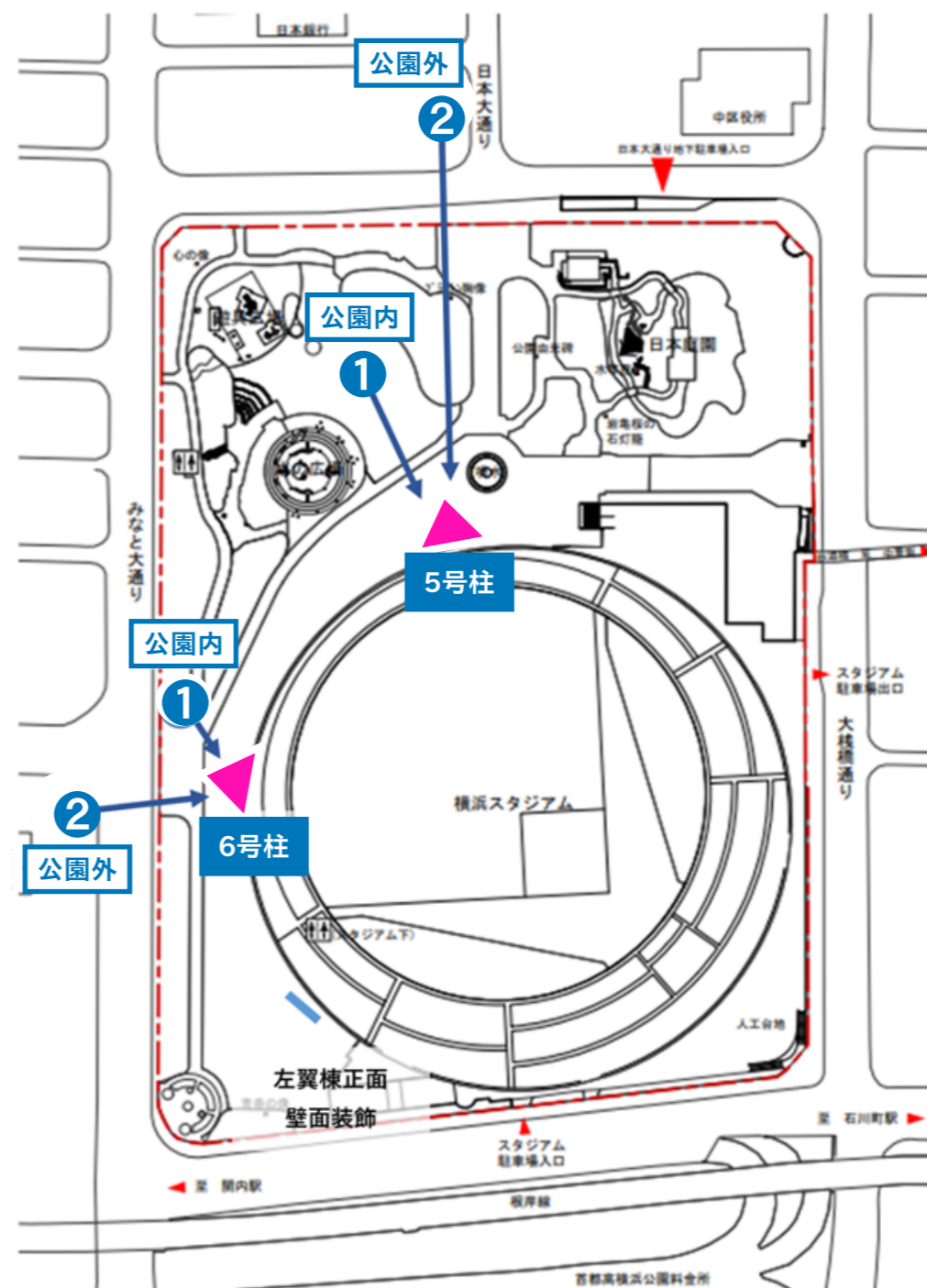
■ 照明塔：見え方のシミュレーション

照明塔：5号柱 / 6号柱

それぞれの

「公園内：①」「公園外：②」

からの見え方のイメージです



横浜スタジアム 照明塔

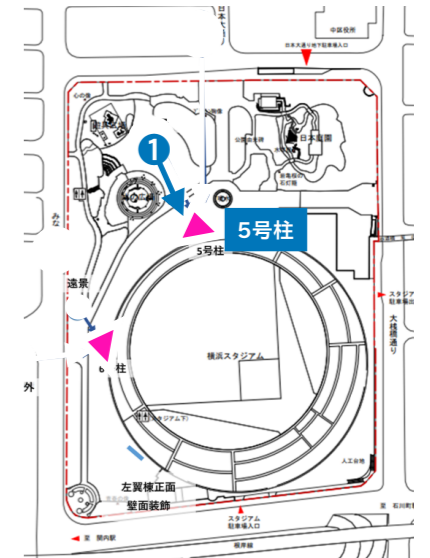
■ 5号柱「公園内：①」 (横浜公園内からの見え方のイメージ)



掲出がない状態

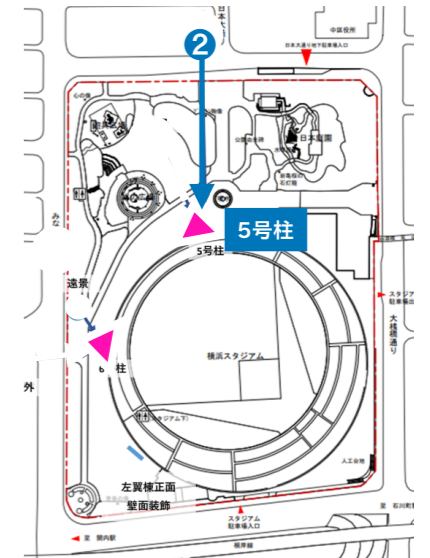


掲出時のシミュレーション



横浜スタジアム 照明塔

■ 5号柱「公園外：②」（日本大通りからの見え方のイメージ）



日本大通りの右上図②の視点からは、
樹木の影になり、照明塔の装飾は視認できません

横浜スタジアム 照明塔

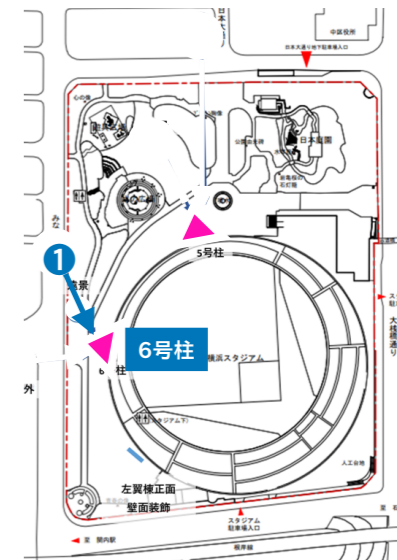
■ 6号柱「公園内：①」 (横浜公園内からの見え方のイメージ)



掲出がない状態



掲出時のシミュレーション



横浜スタジアム 照明塔

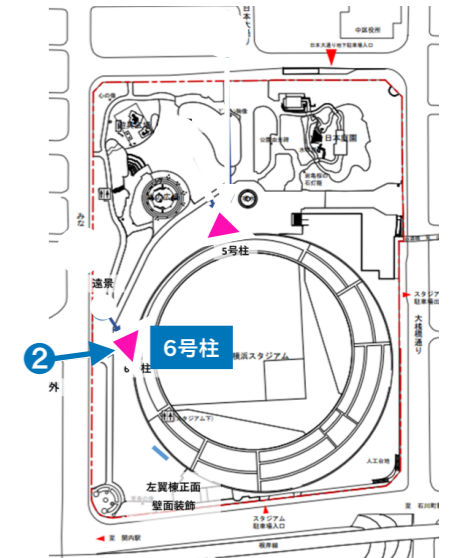
■ 6号柱「公園外：②」（公園外からの見え方のイメージ）



掲出がない状態



掲出時のシミュレーション



審議事項 イ 第 2 回横浜サイン賞二次選考について

1 はじめに

本市では、機能性やデザイン性が高く、横浜の魅力ある景観をつくる広告物を「横浜サイン」と名付け、平成 25 年度からその普及啓発に取り組んでいます。

令和 3 年度は取り組みの一環として、魅力的な横浜市内のサインを表彰する「第 2 回横浜サイン賞」を開催しています。

2 令和 3 年度実施結果及び予定

| 時期 | 内容 |
|-----------------------|--|
| 6 月 10 日～ 7 月 31 日 | 候補作品の募集（応募総数： <u>148 作品</u> ） |
| 10 月 18 日 | 【デザイン審査部会】 一次選考通過作品の候補を選定 |
| 11 月 8 日 | 【横浜市屋外広告物審議会】 一次選考通過作品の候補を承認（選考結果： <u>31 作品</u> ） |
| 12 月 18 日、 19 日 | 【横浜サイン展 2021】 一次選考通過作品のうち、使用許諾を得ることができた <u>25 作品</u> を展示し、来場者投票を実施 |
| 令和 4 年 1 月 7 日 | 【デザイン審査部会】 二次選考通過作品の候補を選定（選考結果： <u>12 作品</u> ） |
| 1 月 24 日 | 横浜市屋外広告物審議会にて二次選考を実施 |
| 2 月 27 日 | 横浜サイン・フォーラムの中で表彰式を実施 |

3 二次選考通過作品の選定方法について（案）

令和 4 年 1 月 7 日に第 6 回デザイン審査部会を開催し、二次選考通過作品の候補（12 作品）を選定しました（資料イ-1）。

本審議会において二次選考通過作品として決定します。

(参考) 横浜サイン展 2021 について

第 68 回横浜市屋外広告物審議会において決定した一次選考通過作品のうち、使用許諾を得ることができた 25 作品を、令和 3 年 12 月 18 日 (土)・19 日 (日) に横浜新都市ビル新都市プラザにおいて展示し、来場者投票を実施しました。

来場者数等：来場者数 約 3,000 人 市民投票数 648 票

市民投票結果

| 順位 | 得票数 | 店舗等の名称 | 所在地 | 資料イ-1 |
|----|-----|--------------|-----------------------|-------|
| 1 | 80 | こんにちは | 栄区公田町 514 | 7P |
| 2 | 63 | 京急ミュージアム | 西区高島一丁目 2-8 | 6P |
| 3 | 53 | 麒麟ビール横浜工場 | 鶴見区生麦一丁目 17-1 | 5P |
| 4 | 43 | 協同組合 元町エスエス会 | 中区元町一丁目 14 番地 | 10P |
| 5 | 35 | おもや甘納豆店 | 南区吉野町三丁目 7 | 3P |
| 5 | 35 | 理容室ミズノ | 戸塚区戸塚町 3981-12 M フラット | 13P |

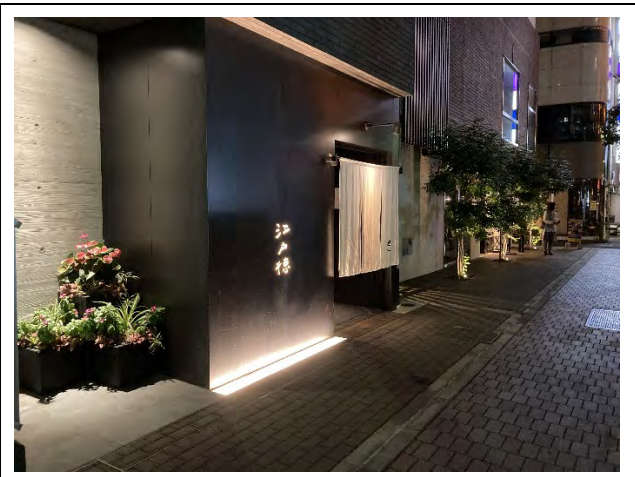
会場の様子



第 6 回横浜市屋外広告物審議会デザイン審査部会において選定された作品

| ページ | 店舗等の名称 | 所在地 |
|-----|--------------|-------------------------------|
| 2 | 江戸徳 | 中区太田町五丁目-63 |
| 3 | おもや甘納豆店 | 南区吉野町三丁目 7 |
| 4 | キタムラ K2 元町本店 | 中区元町二丁目 95 |
| 5 | キリンビール横浜工場 | 鶴見区生麦一丁目 17- 1 |
| 6 | 京急ミュージアム | 西区高島一丁目 2- 8 |
| 7 | こんにちは | 栄区公田町 514 |
| 8 | 中山精肉店 | 緑区長津田五丁目 5- 6 |
| 9 | ハードロックカフェ横浜 | 西区みなとみらい二丁目 3- 1 クイーンズタワーA1 階 |
| 10 | 協同組合 元町エスエス会 | 中区元町一丁目 14 番地 |
| 11 | 横浜弘明寺商店街協同組合 | 南区弘明寺町 134 |
| 12 | 横浜ハンマーヘッド | 中区新港二丁目 14- 1 |
| 13 | 理容室ミズノ | 戸塚区戸塚町 3981-12 M フラット |

江戸徳（中区太田町五丁目-63）



おもや甘納豆店（南区吉野町三丁目7）



看板のデザインの由来

昭和 24 年より変わらぬ、木製の袖看板です。

看板に関連するエピソード

木でできている為 10~15 年で作り変えています。

その場所でお店を開くようになった経緯等

昭和 18 年まで野毛本通りで営業していましたが、戦争の為休業となり、昭和 24 年に吉野町に移転してきました。

キタムラ K2 元町本店 (中区元町二丁目 95)



麒麟ビール横浜工場（鶴見区生麦一丁目 17-1）



看板に関連するエピソード

麒麟ビール横浜工場を見学に訪れる年間約 30 万人（※ 1）のお客様が必ず目にする「シンボルオブジェ」は 2017 年に完成しました。

同じ鶴見区内にある京浜臨海部の企業、AGC・JFE テクノスとともに制作（※ 2）したシンボルオブジェは、夜間ライトアップされ家路につかれるお客様を見送っています。

※ 1 2019 年実績

※ 2 三層ガラスを AGC、イルミネーションの装飾施工を JFE テクノスが手がけました

京急ミュージアム（西区高島一丁目2-8）



看板のデザインの由来

一見遊具に見えますが、文字はなくとも「ここは京急のビルだ」と伝わる看板の役割を担っています。

看板に関連するエピソード

京急らしさを伝えるなら本物の電車を！と検討したものの屋外への展示はハードルが高く、電車は京急ミュージアム内に收藏し、コンパクトでインパクトのあるベンチ型サインを作ることになりました。電車の行先は、向いた方角にあった表示とこだわりました。

その場所でお店を開くようになった経緯等

横浜は京急線の中心に位置する重要な拠点で、沿線開発の司令塔としてみなとみらい21に進出しました。

こんにちは（栄区公田町 514）



看板のデザインの由来

真白な「のれん」に、ハサミ、櫛、鏡など手書きのイラスト。シンプルで、親しみやすく、ちょっと目を引く粋なのれんをお店の顔にしました。

看板に関連するエピソード

内装担当の夫が、ヒノキの香り漂うお 店にしてくれたので、看板もそれに相応しく白いのれんにしました。

その場所でお店を開くようになった経緯等

地元の公共施設があり、人が多く行き交う立地で、今年6月に人にやさしい美容室「こんにちは」を開店しました。

中山精肉店（長津田五丁目5-6）



看板のデザインの由来

サインは正方形のロゴと中央の×印を特長としています。正方形は古来から信頼・安定・規律を表す形状として使われてきました。

看板に関連するエピソード

ロゴ中央に配置した×印は我々の仕事道具（ナイフ）がモチーフ。この×印は、地図上の目的地、宝物が隠してある場所。ここは、「お客様が探し求めていた宝物（最高のお肉）がある場所」である事を表しています。

その場所でお店を開くようになった経緯等

ここ長津田が宿場町という事で、家畜商だった初代がそのノウハウを生かし、精肉店を始めました。

ハードロックカフェ横浜（西区みなとみらい二丁目3-1 クイーンズタワーA1階）



看板のデザインの由来

ALL IS ONE をモットーとしており、世界 180 店舗全て同じデザインの看板を掲げております。
ギブソン社製のギターを特徴としており、ハードロックカフェの貴重なモニュメントの一つになっています。

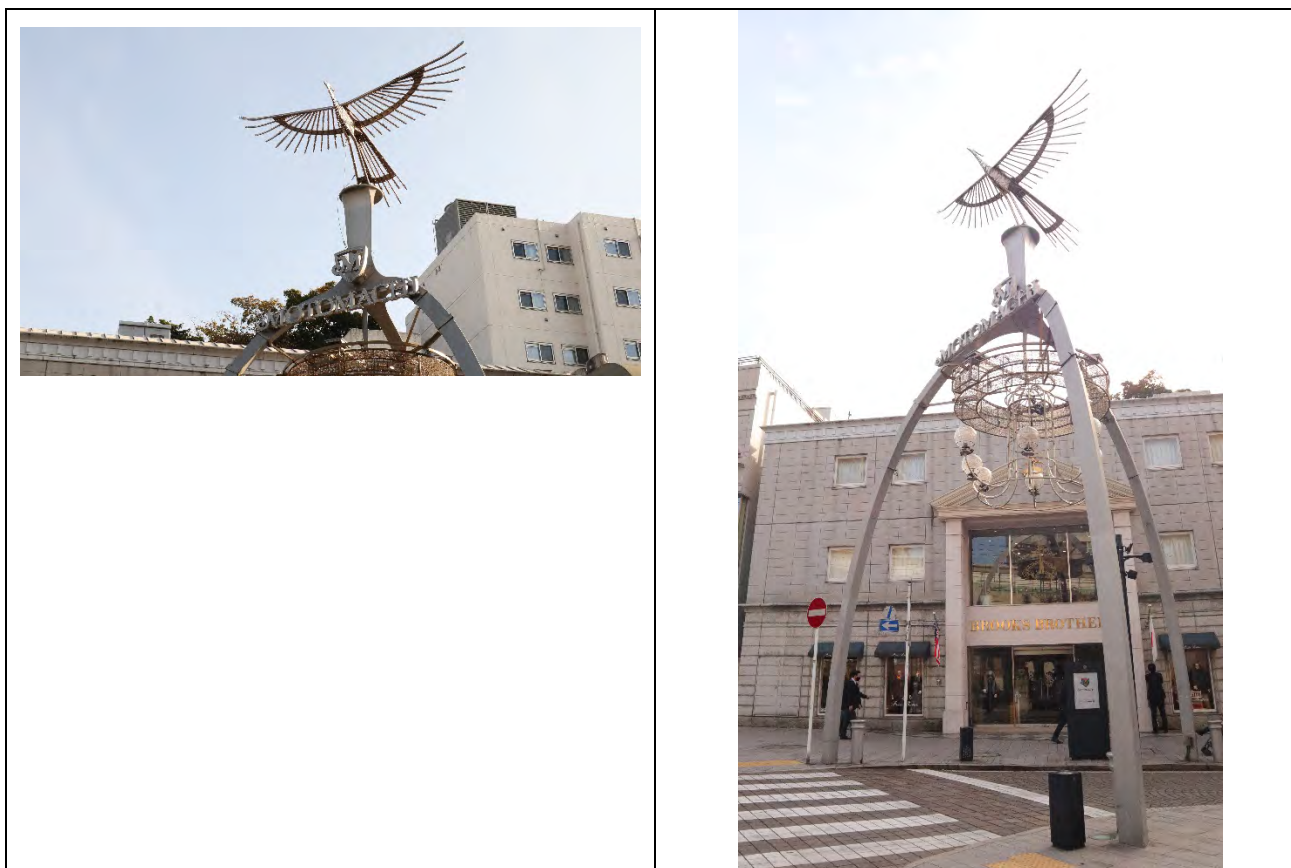
看板に関連するエピソード

観光地として、ハードロックカフェを訪れる人は必ずギター看板の前で写真をとっていかれます。
SNS での反響もよく、ダイナミックな印象が人を引き付けています。

その場所でお店を開くようになった経緯等

ランドマークタワーと同時期に開業。バリアフリーにも対応できるように一階に併設しました。
開業時より 24 年間、ひたすらみなとみらいの街を照らし続けています。

協同組合 元町エスエス会（中区元町一丁目 14 番地）



看板のデザインの由来

「フェニックス」は、元町の入口に立つ元町ショッピングストリートのシンボルアーチです。

元町のイメージを『伝統を受け継ぎながら、常に新しく生きるフェニックス』にとらえ、デザインには『翔べ光の中へ』との意味が込められています。

看板に関連するエピソード

1985 年設置。ステンレスサンドブラスト仕上げのアーチの上にステンレスパイプ製の不死鳥（フェニックス）が羽ばたいています。



看板のデザインの由来

2001年にアーケードが全面改装され、商店街のロゴマークで賑やかさを演出したい思いから製作しました。

○ はお客様が弘明寺商店街に来街していただく「地域」を表しています。

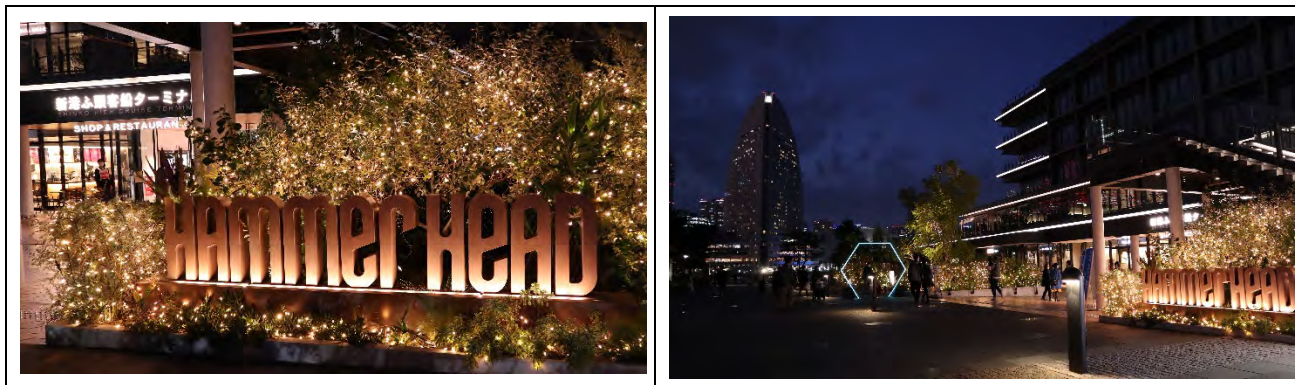
ぐ は弘明寺の「弘＝ぐ」であり、ぐの書体はお客様をもてなす「やさしさ」と商店街の中央を流れている大岡川の「緩やかな流れ」を表し、` は川沿いに咲く桜並木の花びらをイメージしています。

弘明寺商店街は地域の皆様に支えられて発展してきました。弘明寺観音の門前町として栄え、「人情、下町」をお客様に接する心として地域の皆様の生活をサポートする商店街です。これからも桜や大岡川の自然と共存する地域（○）の核として「人情」「下町」の「やさしさ」（ぐ）でおもてなしします。

看板に関連するエピソード

弘明寺商店街はCMやドラマ等の撮影によく使われていますが、◎のロゴマークが映り込むのがぐにわかります。「見たよ！」「弘明寺だよね！」等、地域のお客様からお問い合わせも多くいただきとても気に入っています。

横浜ハンマーヘッド（中区新港二丁目 14-1）



看板のデザインの由来・エピソード

横浜みなとみらいの新名所横浜ハンマーヘッド。“食”をテーマにした商業施設と客船ターミナル、ホテルが一体となった複合施設。その名称となっているハンマーヘッドは、海際にあり100年前に設置された「ハンマーヘッドクレーン」であり、この施設のシンボルです。

そのクレーンのイメージからサインは鉄のカラー（錆色）、力強いサインの大きさとデザインされたグランドサインとなっています。また、植栽の中に配置する事により、訪れる人々に「海」「風」「太陽」を感じて頂きながら施設名称を強くアプローチしています。

夜には下からの光により海辺のロマンティックなイメージも伝えられているグッドデザインサインといえます。

その場所でお店を開くようになった経緯等

横浜市がみなとみらい21において推進する「新港地区客船ターミナル等整備事業」において、横浜の地元企業を中心とした8社で構成する「新港ふ頭客船ターミナル（株）」が事業予定に選定され開業に至りました。

理容室ミズノ（戸塚区戸塚町 3981-12 M フラット）



看板のデザインの由来

床屋さんの看板がサインポールだけではつまらないとハサミの看板を作ったようです。昭和 53（1973）年

看板に関連するエピソード

ハサミの看板には思いがありメンテナンスをしてお店と共に今の場所に移転をして来ました。平成 19（2007）年

その場所でお店を開くようになった経緯等

もともと戸塚西口バスセンター前で営業をしていました。再開発により現在地に移転をして来ました。戸塚 80 周年記念誌によると明治 45（1912）年に夫の祖父が創業した記録があるそうです。夫は 3 代目でした。ハサミの看板にこだわった人です。